

平成26年度忠霊塔・忠魂碑等の実態調査表

報告年月日 平成 25 年 12 月 16 日

① 名 称	川内村(地区) 忠魂墓地
② 建立場所	以下資料より【仁淀川右岸の簡易保険保養センターの西隣、一段と高い波川尾山の山頂にあり、西は日高村の連峰及び波川玄蕃城跡を一望に、また東北は仁淀川の清流を眼下に伊野町全域を切望する絶佳の聖地。】
③ 敷地面積	
④ 建立年月日	昭和28年4月10日
⑤ 敷地所有者	当時個人より寄付
⑥ 建立主体	溝渕増巳、森本勝躬、池田哉亀知、川内遺族一同、敷地参道寄付 吉良八之進
⑦ 建立の経緯等	<p>以下昭和39年5月の碑文より 【この塔は、日清戦役以降 赤誠をもって祖国に殉じた川内地区出身の戦士の芳魂を慰めるとともに 感謝と崇敬の念を込めてここに合祀するに至り、昭和13年10月 村民相図り旧軍人墓地を改拡して忠魂碑を建設。次いで昭和17年2月、村人あげて労役奉仕により表参道を新設せるところ今般左の各氏の善意により殉国の英霊116柱を銘記してその功績と栄誉を千載に顕彰する。 以下 寄付者名】</p> <p>日清日露の役以来大東亜戦争に至るまでの殉国の士を祀る。 昭和39年4月、地区民の多額の寄付金が寄せられ、大理石に刻まれた霊名碑が建設された。昭和41年に補修された当時、遺族会会員より多額の醸金がおくられた。</p>
⑧ 建設総費用 (財源等)	霊名碑 百数十万円
⑨ 忠霊塔等の所有者	
⑩現在の管理者	川内地区自治会

⑪維持管理の方法	清掃割り当て(地区別)12組。毎月第1日曜日に実施。献花。
⑫慰霊祭の実施状況	地区では特になく、いの町の追悼式の折献花いただき、墓参りする。
⑬霊名碑等の有無	有 無
⑭戦没者の合祀者数	日清日露 12柱、日支事変 15柱、大東亜戦争97柱
⑮備考 (参考となること があれば記入願 います)	平成21年に川内自治会により屋根修理 費用 174,562円